

## 1 はじめに

私は、11月にシバンス高校との交流会に参加しました。ホームステイの受け入れをし、とても良い経験が出来ました。一緒にご飯を食べ、一緒に寝て、本当に短い期間だったけれど、一生仲良くしたいと思えるほど親しくなることができました。交流会にも参加することによって、他のメンバーともとても良い関係を築くことができました。もしフランスに行ける機会があるなら何がなんでも行こうと思いました。そんなときに、フランス訪問プロジェクトの話聞き、すぐに応募させていただきました。



図 1 日本でのお別れのハグ

## 2 プロジェクトに参加して

ホームステイ先は、私が11月にホームステイを受け入れた生徒の家でした。本当に有難く思っています。晩御飯ではアルザス料理や、チーズを何種類も食べさせていただき、貴重な体験が出来ました。日本では孤食が増えてきている中、フランスでは家族全員揃ってご飯を食べることが当たり前でした。それだけでなく、家族皆でお喋りをして食事を楽しんでおり、長旅で疲れていた私を楽しませてくれました。



図 2 シバンス農業高校での再会

私は、フランス人の食事を大切に作る心がとても良いなと思いました。「食事を皆で楽しむ」という考えがもっと世界中に広まって、孤食が少なくなって欲しいなと思います。私自身も最近家族皆揃ってご飯を食べることが減ってきているので、家族皆でご飯を食べることを意識し、食事を楽しみたいと思いました。

私がこのフランス訪問プロジェクトで特に印象に残っていることは、フランス人の優しさです。荷物が置けなくて困っていた時に「ここに置いて良いよ」と言ってくれたお爺さん、少し疲れている時に「疲れた?大丈夫?」と声をかけてくれた高校生や先生方、沢山話しかけてくれたホームステイ先のご家族、街中で「Bonjour」と挨拶してくれた人々、全ての人の優しさを感じ

動しました。そして、私も周りの人が温かい気持ちになれるような優しい人になろうと思いました。

私は、今回夢のような楽しい旅をすることができました。ホームステイ先の生徒とお父さんと一緒に、車の中で「Les Champs-Élysées」を歌ったり、皆とハグをしたり、一緒に写真を撮ったり、本当に最高のひとときでした。フランスの景色、料理、香りはどれも初めて触れるものだったのでとても新鮮

で感動しました。食の楽しさ、文化の違い、人々の優しさなど、言葉で表せないくらい沢山のことを感じる事ができたので、思い切って挑戦してみて本当に良かったなと思います。絶対にまたフランスに行き、もっと全身でフランスを感じたいと思います。次にフランスに行ったときに沢山のひとと話せるようにオープンマインドな人になろうと思います。私は全然英語が話せず、ジェスチャーや翻訳機に頼りっぱなしでとても悔しかったので少しでも自分の言葉で話せるように精一杯努力していきたいと思います。



図 3 ホストファミリーとの写真

### 3 今後の活動について

今回素敵な出会いがありましたが、仲良くなった友達がフランスという遠く離れた所にいるというのは胸が引きちぎられそうなくらい辛いです。しかし、個人的に連絡を取り合い、一生の付き合いになるようにしていきたいなと思います。また、シバンス高校と高知農業高校の仲が深まっていけるよう、シバンス高校との交流にも積極的に参加していこう

と思います。一緒にフランスに行った日本の高校とも交流できたら嬉しいなと思います。

フランスから帰ってきた今、異国の友達にすぐに会えない切なさや、友達に会うために頑張りたいのに何をどう頑張ったら良いのかわからないというもどかしさを感じます。しかし、この気持ちはフランスに行かないと絶対に感じる事ができなかった気持ちなのでこの気持ちを絶対に忘れずに1日1日を過ごして行こうと思います。

様々な方のおかげで夢のような経験ができたこと、沢山のひとと巡り会えたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



図 4 リヨン市内の散歩